

令和8年度

避難生活施設運営委員会

会長会議



大和市イベントキャラクター
ヤマトン

危機管理課 担当紹介

区域	運営委員会	危機管理課 担当	区域	運営委員会	危機管理課 担当	区域	運営委員会	危機管理課 担当
北部	中央林間小学校	山本 川名 草刈	中部	光丘中学校	吉平 尾森 吉本	南部	引地台中学校	吉江 土屋 水村 秋山
	つきみ野中学校 県立大和高校			深見小学校			引地台小学校	
	緑野小学校			草柳小学校			柳橋小学校	
	西鶴間小学校			大和小学校			桜丘小学校	
	北大和小学校			大和中学校			下福田中学校	
	南林間小学校 南林間中学校 県立大和西高校			文ヶ岡小学校			下福田小学校	
	林間小学校 特別支援教育セ ンター 「アンダンテ」			大和東小学校 県立大和東高校			渋谷中学校	
	鶴間中学校			大野原小学校			渋谷小学校	
							福田小学校	
		上和田中学校						
		上和田小学校 県立大和南高校						

本日の内容

- (1) 避難生活施設運営委員会とは
- (2) 活動事例紹介
- (3) 今後の活動について



(1) 避難生活施設運営委員会とは？

避難生活施設運営委員会とは①

避難生活施設（市内33カ所）



避難生活施設運営委員会とは②

- 災害時に避難生活施設（市内33か所）の運営を自主的かつ円滑に行うため、平時から協議や訓練を行う組織

27の委員会が設立

※高校等は近隣の小中学校と合同

平時

- ・ 避難生活施設の運営方法について協議する委員会

災害時

- ・ 避難生活施設の運営に従事する委員会

避難生活施設運営委員会の構成員

★重要

3者と避難者が協力して運営



★危機管理課は平時には必要に応じてオブザーバーとして委員会に参加いたします。

避難生活施設運営委員会の必要性①



阪神淡路大震災での避難所の状況



新潟中越地震での避難所の状況

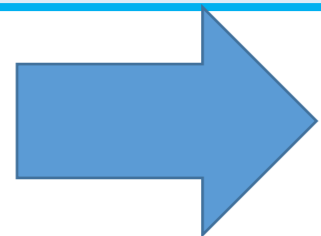
避難生活施設運営委員会の必要性②

避難生活施設運営委員会があると…



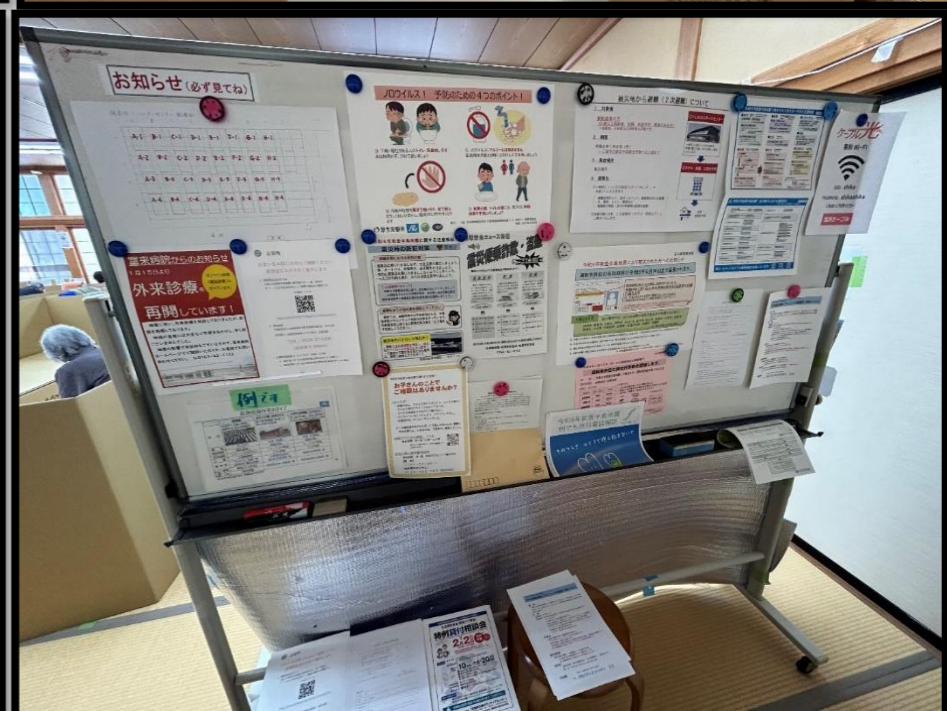
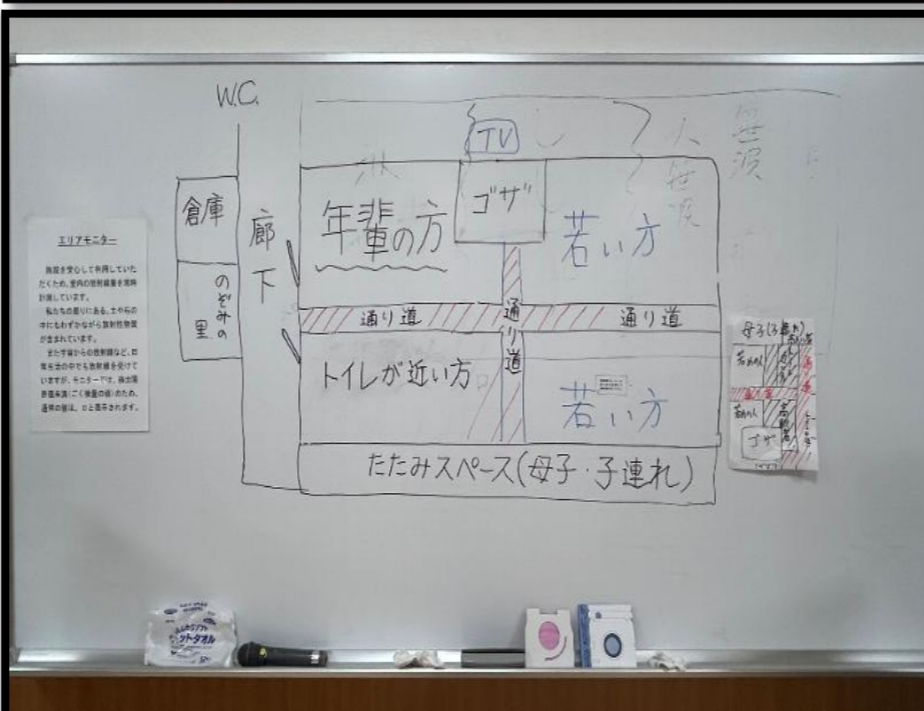
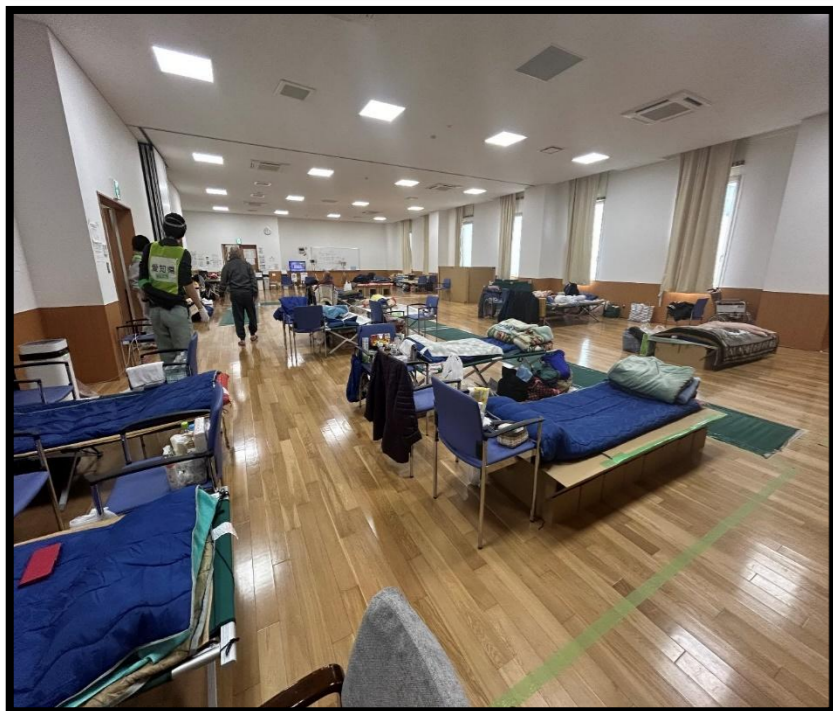
ルール等が明確になり

- **健康状態、衛生環境**が改善される
- **居住スペース、通路**が確保される
- **情報**が開示（共有）される
- **災害関連死を減らす**ことができる



生活の「**質の向上**」を目指す。

志賀町での避難所の様子



地震時における避難の流れ

事前対策

家の耐震化や
家具の固定



備蓄品の確認



避難場所

一時避難場所で情報収集や
安否確認（自主防災活動）



大規模火災等の危険があ
る場合は**広域避難場所**へ



広域避難場所

市が指定する**指定緊急避難場所**



避難生活施設

自宅に住めない
方は**避難生活施設**へ



自宅に
住めない

自宅で
生活できる

自宅へ



危険から
逃れる

避難生活施設開設・運営における注意事項

避難生活施設の開設条件



原則

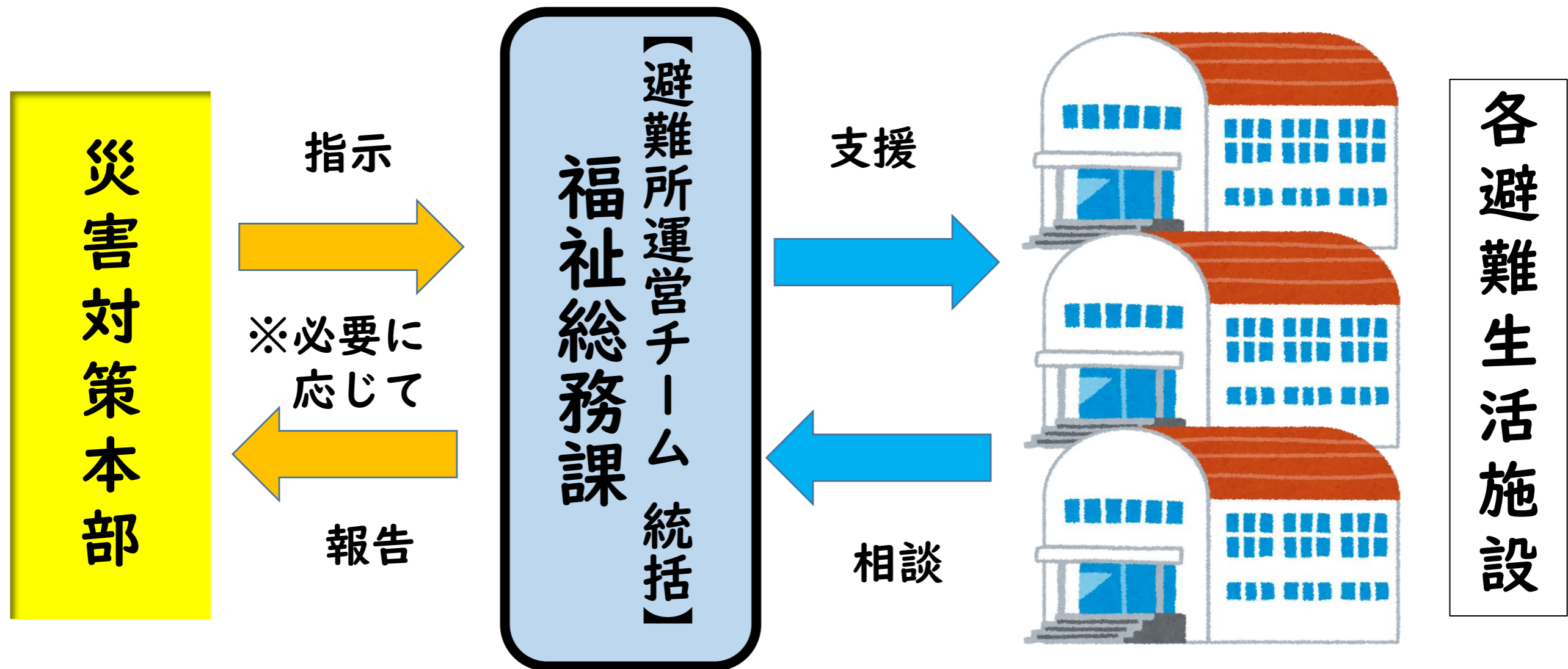
大和市災害対策本部が被災状況等から必要と判断した場合に開設となる。

必要事項

- ① 災害対策本部から、避難生活施設の指示が出ている。
- ② 応急危険度判定士（市職員）により施設の安全が確認できている。
- ③ 避難所従事者及び施設管理者が避難生活施設に到着している。
- ④ 避難生活施設運営委員会の構成員が集まっている。

避難生活施設運営時の連絡体制

施設運営時の連絡体制については、以下の図のとおりです。



避難生活施設の運営状況や、避難者の状況等について、災害対策本部・福祉総務課・避難所従事者間で綿密に連絡を取り、臨機応変に対応していくことが重要になります。

避難生活施設開設までの流れ

災害発生



避難生活施設開設の決定
福祉総務課から各施設に開設依頼



避難所従事者の派遣



避難生活施設の安全性を確認
(応急危険度判定)



避難生活施設の開設

市の従事者の役割

「避難所従事者（市職員）は、避難生活施設の運営が円滑に行えるよう避難生活施設の運営業務に従事する」

災害時に円滑な運営を行うために、
平時から**顔の見える関係づくり**が必須

★市と避難生活施設の**橋渡し**役。災害時には主体的な行動が必要

市の従事者の役割～具体例～

- 1 運営の円滑化 （状況把握と判断）
- 2 避難者の把握・報告
- 3 被害状況の聞き取り・報告
- 4 避難所外避難者（在宅避難・車中泊等）の
把握・報告・対応
- 5 物資・資機材等のニーズ調査・要望
（飲み物・食べ物・トイレ・暖房器具など）
→福祉総務課と連絡調整
→災害対策本部で検討・決定など

避難生活施設の運営

- 長期化することが予想される場合には、初動期は避難生活施設運営委員会が主体となって運営し、安定してきた段階（およそ3日目程度：復旧過程期）で、**避難者が主体**となるよう移行していく
- **避難所外避難者（在宅避難者等）の支援拠点**にもなる。

避難生活施設運営委員会の組織（例）

運営本部（自主防災会・市従事者・学校）

総務班	避難生活施設の運営統括、事務局、管理 等
名簿班	避難者名簿の作成、安否等問い合わせ対応 等
食糧班	食糧調達、配給 等
物資班	物資調達、管理、配給 等
救護班	負傷者救護、要援護者の移送、こころのケア 等
衛生班	ごみ、トイレ、清掃 等衛生管理 水の確保 等
情報広報班	情報収集、情報発信 等

避難生活施設開設までの流れ（各活動班）

会長・副会長 … 運営委員会へ参集、役割の指示

総務班	避難者の整理、誘導。体育館の区割り 等
名簿班	避難者の受付準備 等
食糧班	飲料水の確保、食料の配布準備 等
物資班	避難者の受付準備補佐、防寒具配布 等
救護班	傷病者の把握、救護所の設置 等
衛生班	簡易トイレ、ごみ置き場の設置、衛生管理 等
情報広報班	情報収集、発信 特設公衆電話の設置 等

避難生活施設の初期段階

初期段階として発災から3日間ほど。

避難者には避難生活施設での生活ルールを周知し、活動に協力してもらいます。

初動期の活動は以下のように多岐にわたるので、混乱を避けるためにも自主防災会や避難者の協力が必要になります。

(例)〈作業内容〉

- ・避難者数の確認(受付)
- ・避難者への対応
- ・けが人や要配慮者への対応
- ・体育館の区割り
- ・トイレの確保
- ・学校施設の利用ルール周知 など



避難生活施設の復旧過程期

災害発生から、3日～1週間程度の時期。

避難者が避難生活施設での生活に慣れ、支援物資も届くなど、避難生活施設の運営が安定しはじめます。

この時期から、集団生活のストレスからの疲労や窮屈な姿勢を強いられたことによるエコノミー症候群が発生するなど、体調を崩す避難者が増えてくるため、避難者の健康状態や衛生環境に配慮した運営が求められます。

回復するライフラインが出てくることにより、避難者数も減少しはじめます。

(例)〈作業内容〉

- ・避難者の入退所管理
- ・健康相談
- ・物資の調達、管理、配布
- ・衛生環境の整備 など



避難生活施設の復旧・撤収期

ライフラインが本格的に復旧し始め、避難者の人数が減少することで、避難生活施設運営本部の負担が大幅に軽減されます。避難生活施設で生活する避難者には、避難生活の長期化に伴いプライバシーの確保等が求められます。

また、学校教育が再開されることもあり、使用範囲等を施設管理者と調整する必要性が生じます。

(例)〈作業内容〉

- ・プライバシーの確保
- ・避難生活施設の統廃合に伴う移動・調整
- ・避難生活施設の閉鎖
- ・避難生活施設運営本部の廃止 など

防災備蓄品の保管場所



長さ 約6m 幅 約2.4m 高さ 2.5m 面積 約14.4㎡
14.4㎡ = 4坪ちょっとの倉庫

防災備蓄品の例

食料

ご飯、パン、ようかん、ミルク



クリアボックス

使用用途別にBOXを作成



消耗品の購入希望調査について

各運営委員会において必要と感じている消耗品について、皆様から要望をいただき、危機管理課の方で物品の検討し購入をしようと考えています。

詳細につきましては、依頼文及び購入希望調査票をご覧ください。

購入物品及び配布時期が決定した際には、各避難生活施設運営委員会時に担当者からアナウンスをさせていただきます。



消耗品購入実績

年度	番号	品名	総数	1避難所あたり
6年度	1	タイプCケーブル	198本	6本
	2	急速充電ポート(6口)	33個	1個
	3	台車	33台	1台
	4	老眼鏡(強・中・弱)	33セット	1セット
	5	ペンホルダー付きクリップボード	33個	1個
	6	靴入れの用の袋(100枚入り)	120セット	3セット
7年度	1	シューズカバー	33個	1個(100枚入)
	2	ドライバーセット	33セット	1セット
	3	メッシュベスト	330着	10着
	4	伸縮コーン・コーンバー	33セット	1セット(コーン2個・バー1本)
	5	のぼり旗・旗竿・スタンド	66セット	2セット(開設・受付各1セット)
	6	養生テープ	330巻	10巻

(2)活動事例紹介

(例) 資機材取扱い訓練

- 発電機や投光器など避難生活施設で使用する資機材の取扱い訓練。



(例) 開設訓練

- 実際に避難生活施設の開設にあたり、区割、名簿記入、避難者の受入を行う訓練。



(例) HUG訓練

- 避難所（H）・運営（U）・ゲーム（G）
- カードを避難者に見立てて避難所に配置する図上訓練。避難者の状況や、ニーズを考慮しながら、避難所開設や運営を模擬体験する訓練です。



上和田中学校 避難生活施設運営委員会 活動事例

上和田中学校避難生活施設運営委員会 2026年度会長 山澤園江

* 上和田中避難生活施設の特徴 *



地勢：大和市南部境川沿いに位置

構成：宮久保自治会・相鉄上和田第一

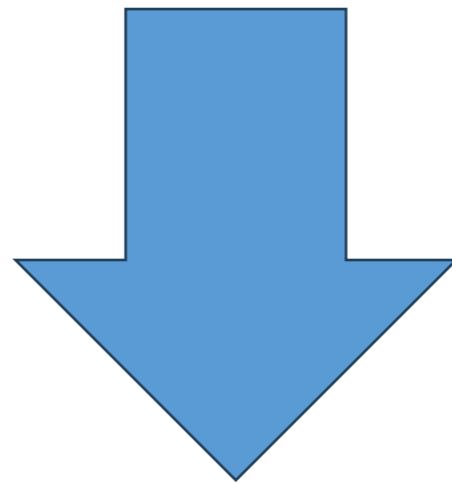
加入世帯：300世帯

* 活動目標 *

活動目標は二か年計画で設定（今年度は2年目）

1年目：運営委員のみで避難所開設

2年目：地域住民の参加を募り、避難所開設

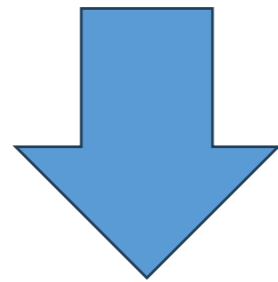


1年目の目標を達成するために！

* 防災資機材の把握 *



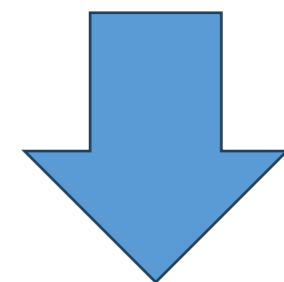
- 防災備蓄品の確認
- 防災備蓄倉庫の整理



- 消費期限 不足品の把握
- 使い勝手のよい収納



- 資機材使用訓練

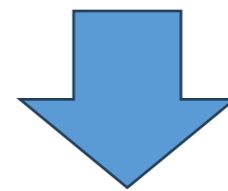


- 使える人の増加
- 機材の作動点検

* 施設の把握 *



教室の用途を確認し、収容・配置をイメージ

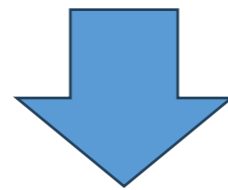


収容人員・作業動線の検討

* 受付要領の検討 *

● 受付名簿

他の避難生活施設を参考に、上和田中流の内容で作成



- ① 事前受付（体調不良者の確認） ⇒ 感染防止
- ② 簡易受付 ⇒ 受付での混雑緩和
- ③ 本受付 ⇒ 避難者の確実な把握

* 設営要領の検討 *

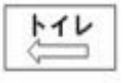
各班、開設の手順書プリントや設営に必要な物を入れた“開設BOX”を作成
⇒ ボックスは設営箇所ごとに色分けし、取り出しやすくする

トイレ設営

Point!

- 汎用トイレを確保、設置すると同時に衛生管理が重要なポイントになります。大勢の人が利用するため、番員以上に清潔な手洗いや換気設備が必要です。
- 番員がトイレ設備を維持することで、感染拡大のリスクを減らすことができます。
- 設置に利用するために、手洗いや消毒の手洗い方法の理解し、清掃体制を整えましょう。
- 50人1台のトイレを確保し、障害者や女性の専用をとり入れ、設置に利用できるようにしましょう。

- ① 備蓄倉庫からクリアケース(赤テープ1ヶとビニール袋1袋) テント型トイレ2ヶ、ウォッシュバルタンク、パケツ 消毒用アルコールを体育館に運ぶ
- ② テント型トイレを組み立て、校庭に置く。使用できるように、テント内にイスや椅子などを置く ※受付が開始されるまでは、まずはこちらのトイレを使用してもらう ※通常のトイレは、利用できるようになるまで【使用禁止】を貼る。
- ③ 養生テープで男性用便器にテープを貼る。【使用禁止】のポップを貼る。
- ④ 女性用便座を、携帯トイレ仕様に設置する。
- ⑤ ウォッシュバルタンク、テーブル、消毒用アルコールを用意する。
- ⑥ 使用済みの汚物入れ = パケツを外に設置する。
- ⑦ 体育館内からトイレへの道すじのポップを貼る



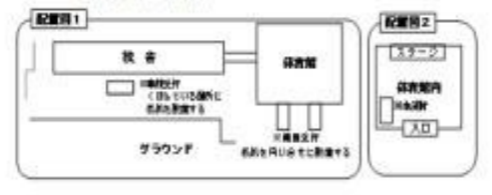
トイレ設営

受付設営

Point!

- 受付の設置が完了した上で、受付所を受け入れられる状態の確保し本部が準備をします。(4〜5時間前が理想です)
- 受付所を確保し記入してもらい、参加人数の把握を行います。

- ① 備蓄倉庫からのクリアケース(黄色テープ2ヶを体育館入口に運ぶ
- ② 『事前受付(体調不良者チェック)』箇所に長机1台を設置する 長机は 1台 から 4台 出してくる
- ③ 『簡易受付』箇所に長机2台を設置する
- ④ 『本受付』箇所に(体育館内)に長机1台を設置する
- ⑤ クリアケースから事前受付用の道具を取り出し設置する
取り出す物
● 事前受付記入用紙 ● えんぴつ ● バインダー
● マスク ● アルコール消毒用
- ⑥ クリアケースから簡易受付用の道具を取り出し設置する
取り出す物
● 簡易受付記入用紙 ● えんぴつ ● バインダー
● 消毒液
- ⑦ クリアケースから本受付用の道具を取り出し設置する
取り出す物
● 本受付記入用紙 ● えんぴつ
● 本受付記入用紙用本



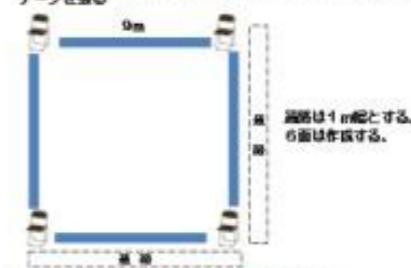
受付設営

体育館区割り

Point!

- 簡易受付が「簡易受付」がなくなってしまおうと人のたまり場を再び再設置することは大変難しいのが現実です。
- 簡易受付は必要スペースは確保して確保することは困難なため事前に決めておきましょう
- 簡易受付の設置位置を確保し、共有しておくことが重要です。

- ① 備蓄倉庫からクリアケース(青テープ1ヶを体育館入口に運ぶ
- ② (初期設置)の区割りを設置 9m×9mの枠を6ヶ作り、A〜Fのポップを貼る イスを四隅に置き、イスの脚から脚へ、ピンク色のスランテープを張る



③ 舞台に無線を置く ⇒ 太田の無線の音が響きすぎる ※無線は職員室から移動

- ④ 簡易テントを組立てる エアベッドに空気を入れ、簡易テントの中に置く
簡易スペースの確保
一人用 2m×2m
二人〜三人用 2m×3m
四人〜五人用 3m×3m

⑤ (第二期)の区割り 簡易受付用紙に記入してもらい、受付から体育館に入る。下足用ビニール袋に消毒液を入れる

体育館区割り



作業手順が明確化することで、時間と労力の削減に期待

* 開設訓練 *

● トイレ設営



● 受付設営



● 体育館区割り



● 物資搬入訓練



* 訓練で見えた課題 *

- 夜間や雨天時など、暗さに対する備えが必要
⇒ 懐中電灯や防災キャンドルを用意する。
- 正門、裏門から受付までの道のりに側溝や段差が多い。
⇒ 危険が伴うことがわかったコーン、蛍光テープの活用
- 他に改善点は？
⇒ 開設BOXの中身をより分かりやすくまとめる。
- 訓練前段階の会議の出席者が少なく、合意・意見の集約がしづらい。⇒ 会議時間を変更

* 訓練の成果 *

☆成果

- ・会長をはじめ、役員が継続していることで、2年計画案が比較的容易に実行できる。⇒継続性の担保
- ・次年度の訓練目標の達成に自信が持てた。

おわりに

下福田中開設訓練を見学した時に、本当に自分たちでこれができるのか不安だったが、危機管理課や避難所従事者の力を借りて、1つずつクリアしながら一年目よりも二年目に向けて前進していると感じている。

これからも訓練を継続して、経験を積み、地域の中学生や高校生も含んだ避難所運営をめざしていきたい。

大和東小学校・大和東高校

避難生活施設運営委員会

避難生活施設運営・体験訓練について

* 大和東小・大和東高校避難生活施設の特徴 *



地勢：大和市中中部境川沿いに位置

構成：9自治会

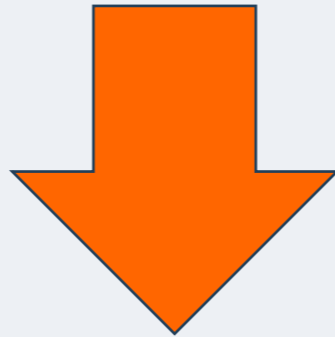
避難生活施設運営・体験訓練について

- 1 日時:令和7年10月4日(土) 9:00~12:00(第一部)
- 2 場所:大和東小
- 3 対象:大和市少年消防団員(小4~中3 55名)
- 4 目的:大規模災害発生時における避難生活施設運営に関する実践的な知識及び技能を習得し、避難生活の現実を理解するとともに、避難施設体験を通じて事前の備えに対する意識を高めることを目的とする。
- 5 実施内容:発災初動期における避難生活施設開設訓練
- 6 主催:大和市少年消防団運営委員会(大和市消防本部予防課)
- 7 共催:大和市危機管理課
一般財団法人 日本防火・防災協会
大和東小・大和東高避難生活施設運営委員会

避難生活施設開設訓練



中学生団員



指導

- ・危機管理課
- ・運営委員会

体育館区割り

情報伝達掲示物

受付設営

災害時のトイレ作成



☆ 興味をもって取り組みスムーズに各作業を終了することができました。

避難生活施設受付訓練

中学生団員

- ・受付
- ・案内

小学生団員

- ・避難者



☆小学生団員が避難者役を中学生団員が受入れをそれぞれ行いました。運営委員の助言や受付時の人数の統制はあったものの、想定時間より早く受入れを完了することができました。

みんなで雑魚寝体験



参加者に体育館に区割りしたスペース(2m×2m)に横になってもらい当初、一人分4m²で十分な広さと思っておりましたが、実際は結構な窮屈感を感じました。また、これに荷物を持ち込むと更に手狭感が増すと思います。

その他の訓練



トイレ体験



講義(能登半島地震)

まとめ

・ 訓練参加者へ期待する成果(小・中学生)

- 避難生活施設への理解
- 中学生でもできることの認識
- 避難所での不自由な体験
- 備蓄品などの理解



家庭、友人へ啓発

・ 訓練を避難生活施設運営委員会として振り返り

- 模擬避難者がいる貴重な機会となった。
 - 避難所においては、子供も重要な戦力
 - 雑魚寝体験による、区割りの実感
- 教えることで、自らも学ぶ**

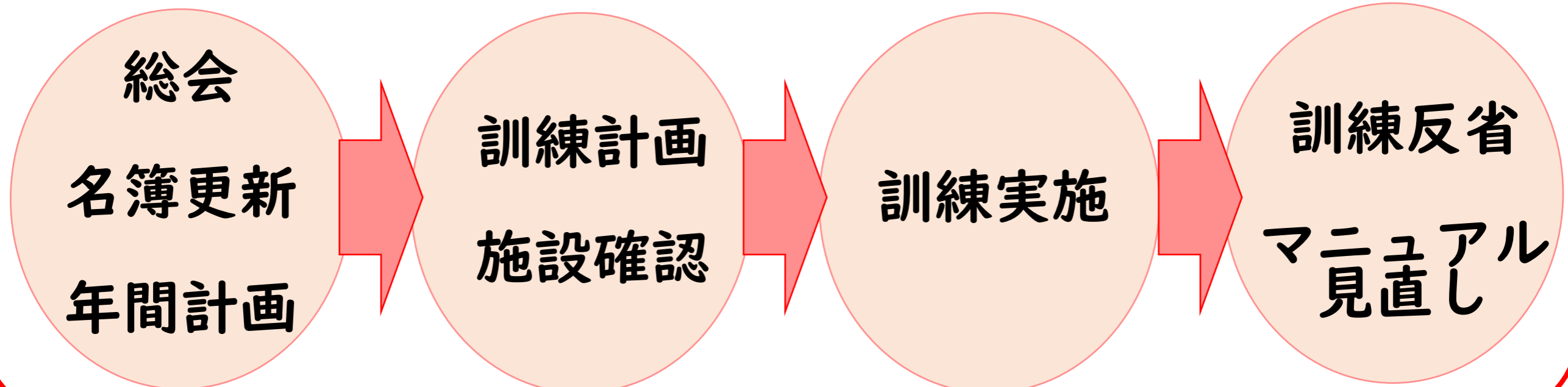
(3) 今後の活動について

運営委員会の平常時の取組み

- 顔の見える関係の構築
- 運営方法の協議、マニュアル等の見直し
- 施設、資機材の確認
- 訓練の実施

(例) 年間スケジュール

※地域の実状により異なります

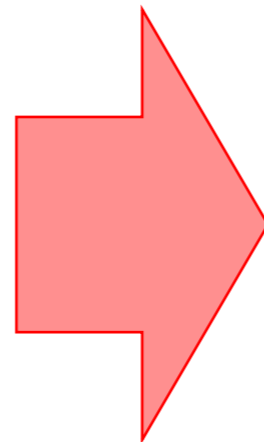


参考

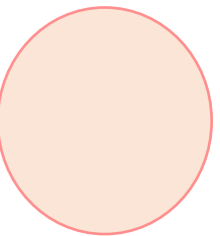
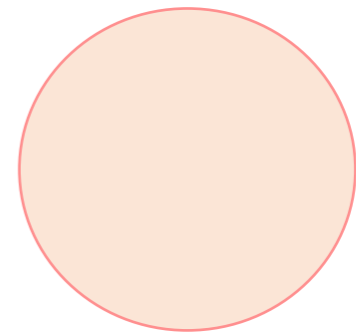
(例) 年間スケジュール
※地域の実状により異なります

・名簿更新

・会長から
本日のフィード
バック



・課題解決
・資機材取
扱い訓練等



避難生活施設運営委員会の名簿作成について

- 年度末～年度当初にかけて名簿の更新をお願いします。

別記様式1

避難生活施設運営委員会 名簿

施設名 _____ 年 月 日現在

		氏名	自主防災会名	電話(携帯)	e-mail等
会長					
副会長					
避難所従事者 (市職員)					
施設管理者					
活動班					
総務班	班長				
	副班長				
名簿班	班長				
	副班長				
食糧班	班長				
	副班長				
物資班	班長				
	副班長				
救護班	班長				
	副班長				
衛生班	班長				
	副班長				
情報 広報班	班長				
	副班長				

今後の運営委員会活動について

【話し合ってみましょう】

- 第一回運営委員会の日程を相談しましょう。
- 今後の連絡先（メールアドレスなど）を交換しましょう。

危機管理課メールアドレス
sc_kikik@city.yamato.lg.jp
メールで調整をするときは、上記
アドレスをccに入れてください。



今後の運営委員会活動について

【お願い】

★今後の避難生活施設運営委員会の開催について、原則市の避難所従事者の方との調整をお願いします。

★本日交換した連絡先を用いて、より一層顔の見える関係を築くことで、災害に強い大和市を一緒に作っていきましょう！！

★危機管理課は今までと同様に、必要に応じオブザーバーとして委員会に参加いたします。



御清聴ありがとうございました。

